

科目ナンバー： 研究・CNS：MC5043

授業コード： 6630500400

講義科目名称： 成人看護学特別演習(成人看護学研究)

英文科目名称： Seminar of Adult Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎高柳智子、小林綾子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎高柳 智子 小林 綾子	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 203 205	【メールアドレス】 takatomo@niigata-cn.ac.jp otsuka@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門分野			
	研究 CNS 助産	【DP1】 ○	【DP2】 ◎	【DP3】 ○
			【DP4】 ○	【DP5】 ○

到達目標	成人看護学における自己の研究課題について、研究目的、研究方法の検討を行い研究計画書を作成できる。
授業概要	成人看護学の研究課題について、プレゼンテーション・討議・フィールドワークを通して研究計画の精練を行い、研究計画書審査・倫理審査に向けて研究計画書を作成する。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義・討議 学修課題：ガイダンス 学修内容：学習の進め方、研究計画書作成に対する課題の確認と整理 事前学修：研究計画書作成に向けて課題を整理し作成タイムスケジュールを発表できるようにしておく 事後学修：討議内容を参考に、作成タイムスケジュールを再考する 備考：高柳 小林</p> <p>2 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討1 学修内容：研究目的の表明、研究対象、データ収集方法、分析方法の構想 事前学修：研究目的の表明、研究対象、データ収集方法、分析方法の構想を準備しておく 事後学修：討議内容をふまえて修正する 備考：高柳 小林</p> <p>3 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討2 学修内容：研究対象、データ収集方法、分析方法の見直しと検討 事前学修：研究目的の表明、研究対象、データ収集方法、分析方法の前回からの修正を説明できるようにしておく 事後学修：討議内容をふまえて必要に応じて再検討する 備考：高柳 小林</p> <p>4 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討3 学修内容：フィールドワークならびに関連学会参加計画 事前学修：研究課題に即したフィールドワークならびに学会参加について計画しておく 事後学修：討議内容をふまえて必要に応じて修正する 備考：高柳 小林</p> <p>5 授業内容 授業形態：フィールドワーク 学修課題：研究計画の検討4 学修内容：フィールドワークによる情報収集の計画 事前学修：研究課題に即したフィールドでの情報収集を計画し、まとめておく 事後学修：討議内容をふまえて、フィールドワークに反映させる 備考：高柳 小林</p> <p>6 授業内容 授業形態：フィールドワーク</p>

7	<p>学修課題：研究計画の検討5 学修内容：関連学会参加による情報収集 事前学修：関連学会に参加し、研究課題に関する情報収集の結果をまとめておく 事後学修：討議内容をふまえ研究計画に反映させる 備考：高柳 小林</p> <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討6 学修内容：フィールドワーク報告と研究課題の意義・実施可能性の吟味 事前学修：フィールドワーク成果報告資料を準備しておく 事後学修：討議内容をふまえ研究計画に反映させる 備考：高柳 小林</p>
8	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討7 学修内容：研究対象、データ収集方法、分析方法の精練 事前学修：今までの学修をふまえ、研究対象、データ収集方法、分析方法の精練を行う 事後学修：討議内容をふまえ研究計画に反映させる 備考：高柳 小林</p>
9	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討8 学修内容：研究フィールド開拓の準備 事前学修：研究課題に即した対象を考えておく 事後学修：討議内容をふまえ研究計画に反映させる 備考：高柳 小林</p>
10	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討9 学修内容：倫理的配慮の検討 事前学修：成人看護学援助論Ⅱでの学修を基盤に倫理的配慮を検討しておく 事後学修：討議内容をふまえ研究計画に反映させる 備考：高柳 小林</p>
11	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討10 学修内容：研究計画のアウトライン 事前学修：これまでの学修を基盤に研究計画書のアウトラインを作成しておく 事後学修：討議内容をふまえ研究計画に反映させる 備考：高柳 小林</p>
12	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討11 学修内容：研究計画書の作成進捗の確認と検討 事前学修：これまでの学修を基盤とした研究計画書作成状況を提示できるようにしておく 事後学修：討議内容をふまえ、必要に応じて研究計画を修正する 備考：高柳 小林</p>
13	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討12 学修内容：研究計画書の精練 事前学修：研究計画書の修正を進めておく 事後学修：討議内容をふまえ、必要に応じて研究計画を修正する 備考：高柳 小林</p>
14	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：研究計画の検討13 学修内容：研究計画書の精練と倫理審査受審に向けた準備 事前学修：研究計画書の修正とともに倫理審査に向けた資料準備を進める 事後学修：討議内容をふまえ、必要に応じて研究計画と倫理的配慮内容を修正する 備考：高柳 小林</p>
15	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：まとめ 学修内容：研究計画書の修正、今後の課題と展望 事前学修：本科目の到達目標の到達度自己評価を行うとともに、研究計画書と倫理審査の資料の修正を行う 事後学修：討議内容をふまえ、必要に応じて研究計画と倫理的配慮内容を修正するとともに、研究計画審査に向けたタイムスケジュールを立てる。 備考：高柳 小林</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標について、研究計画書の完成度 50%、討議内容 50%にて評価する。
テキスト	最新の文献を使用するため、現時点では指定せず授業時に案内する。
参考図書・資料等	適宜、指示する
受講、課題、資料配布等のルール	初回開講時に説明する。

教員からのメッセージ	主体的な参加を期待します。
オフィスアワー	在室時、可能な限り対応